

# 2022 年度生理検査研究班 11 月研究会

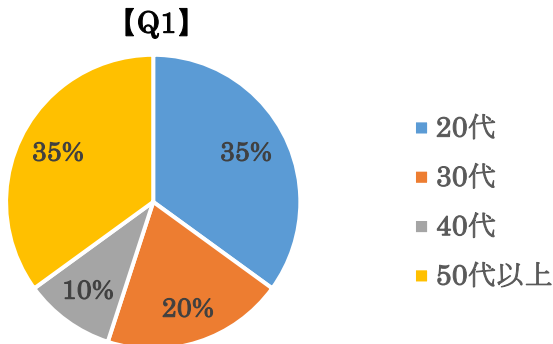
## 「プロフェッショナルに聞いてみよう！明日から試したくなる腹部エコー」アンケート結果

開催日 : 11 月 19 日

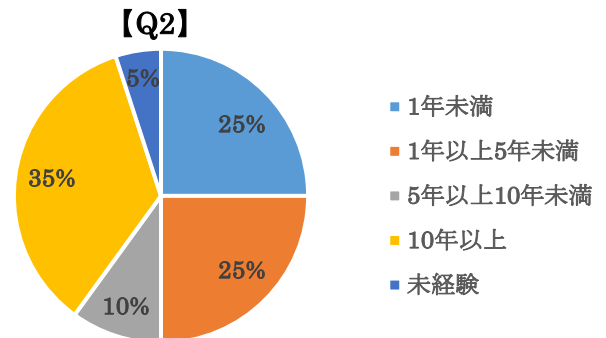
開催様式 : 現地開催 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院)

アンケート回収 : 20 件 (回収率 32%)

Q1 : 参加者の年齢を教えてください

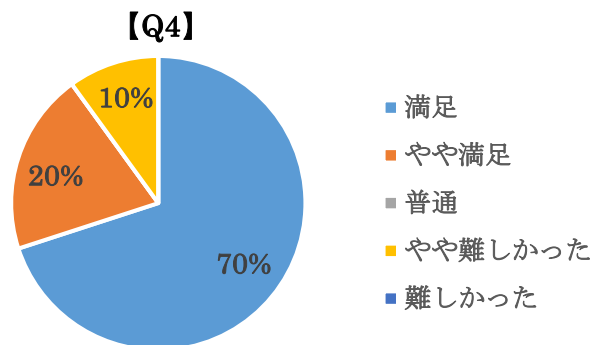
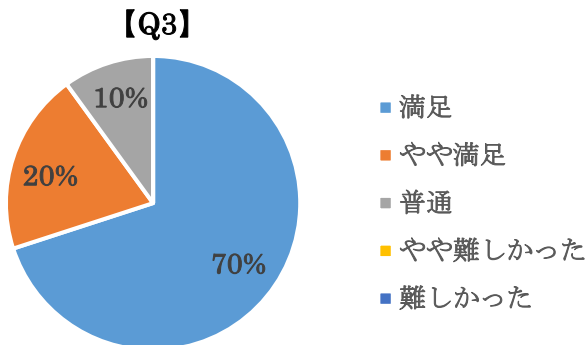


Q2 : 腹部エコー検査の経験年数を教えてください

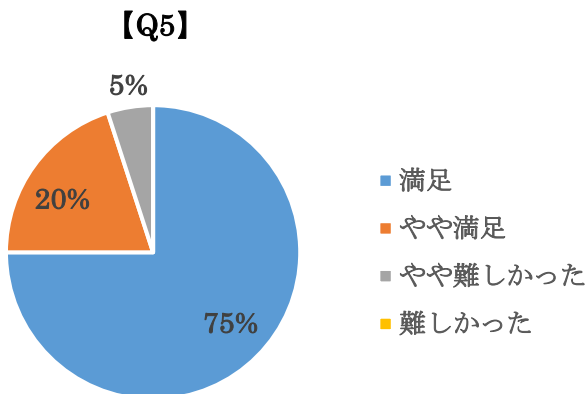


Q3 : 「講演 1 知っておくべきドプラ・造影エコー法の基礎」の講演はいかがでしたか？

Q4 : 「講演 2 知っておくべき肝線維化・脂肪化評価法の基礎」の講演はいかがでしたか？



Q5 : 研究会全体を通じて満足されましたか？



Q6：講演中に聞けなかった質問がございましたら、記載をお願いします。

(質問 1)

・機器を確認したところ周波数は送信周波数と参照周波数がありました。操作するのは送信周波数でよろしかったでしょうか？

(回答 1)

・送信周波数と参照周波数は同じものです。

機器の設定で送信周波数（参照周波数）と表示しているものは見たことなく正確な回答は難しいですが、そちらを変更してもらえれば間違いないと思います。

(質問 2)

・講演中に肝硬度の換算式の話がありましたが、どの HP に記載されていますか？また、前回測定した装置と異なるメーカー機種でフォローする場合、基準値を記載する以外に気をつけることはありますか？

(回答 2)

・肝硬度の換算式が紹介されているのは以下の論文となります。

同一病院内で行う経過観察はできれば同一装置の方がよいのが現状だと思います。

Hiroko Iijima, Toshifumi Tada, Takashi Kumada, et. Al. Comparison of liver stiffness assessment by transient elastography and shear wave elastography using six ultrasound devices. Hepatol Res. 2019 Jun;49(6):676-686.

(質問 3)

・すだれ状や辺縁鈍を認めた時繊維化を見ていますが今だ上手く評価できていません。6年前の FUJIFILM アリエッタ 60 で評価するのは難しいですか？

(回答 3)

・上手く計測できない要因として、肝表面まで距離に加えその構造にも注意する必要があると思います。さらに肝臓の状態（脂肪化、線維化）によっても計測が不安定になります。

一つ目は脂肪肝が強い場合ですが、脂肪が最も減衰係数が高いためうまく超音波が到達しないといった要因です。二つ目は、進行した肝硬変でも計測値が不安定化しやすくなると思います。これは線維化が肝実質均等に生じるわけではないからです。

質問文の中で簾状エコーと肝縁鈍化とありますので、NASH の線維化進行例だと思います。こういった症例は、前述した 2 つの要因（脂肪化と線維化）が重複していますので、より計測は不安定になると思います。

装置に関してはコメントできません。ただ言えることは、新しい装置であるほど計測値が安定化してきていると思います。

Q7：今後、腹部・表在エコー分野で聴講・企画してほしい内容はございますか？

・消化管の描出方法

・脾嚢胞性疾患

・腎・泌尿器系・甲状腺

・皮膚、リンパ節

・しこりとかできものの評価について

・甲状腺エコーの固さの見方を教えていただきたい

・腹部エコーで技師が見えないとコメントした場合、臨床ではどう解釈しているのかなど、医師の意見が聞きたいです。

- ・頸動脈エコーの波形の読み方、腎ドプラ・ナットクラッカーの描出ポイントなども知りたいです
- ・腹部エコーの肝臓の血流評価を目的に依頼が来た場合、どこをみて計れば良いのかの必要最小限な部分を教えてください
- ・今回、造影エコーを目的に聴講したが時間が短かったため、もっと聞きたかった。